

第20回

アスティ ふれあいコンサート

2017

広島交響楽団

ギター: 朴 葵姫
©Toshiya Suda

指揮: 柴田真郁
©ai ueda

管弦楽: 広島交響楽団

2017年12月15日(金)

18:30開演 (18:00開場)

広島国際会議場フェニックスホール

【入場料(全席自由・消費税込み)】

ペア券/¥4,000(前売のみ) 一般/¥2,500(当日¥3,000)
学生/¥2,000(当日¥2,500) ※未就学児の入場はお断りします。

【チケット販売所】

エディオン広島本店(サンモール内)/福屋八丁堀本店/福屋広島駅前店/アスティ/
中国新聞社読者広報部/中国新聞販売所(取り寄せ)
チケットぴあ: Pコード 347-468/ローソンチケット: Lコード 61574

【お問い合わせ先】アスティ総務課 TEL:082-278-1113 主催/アスティ・中国新聞社

【第1部】ギター界の次代を担う新星~朴葵姫を迎えて

- ・ロッシェニ:オペラ「セヴィリアの理髪師」序曲
- ・ロドリゴ:アランフェス協奏曲

【第2部】どこかで聴いたClassicメロディー

- ・チャイコフスキー:花のワルツ
- ・バッハ:G線上のアリア
- ・エルガー:愛の挨拶
- ・ブラームス:ハンガリー舞曲第5番
- ・ドヴォルザーク:ユーモレスク
- ・スメタナ:交響詩「モルダウ」

アスティ ふれあいコンサート 2017

第1部では、数々の主要国際ギターコンクールでの優勝・受賞歴を誇り、ニューヨーク・カーネギーホールでのデビュー等世界的な活躍をはじめ、数多くのCDリリースなど幅広い活躍で注目を集める、女性ギター奏者朴 葵姫さんを迎え、ギター作品の不朽の名曲「アラmfes協奏曲」の共演でお届けします。

第2部では、モルダウをはじめ、誰もが一度はどこかで耳にされたことのある、おなじみのオーケストラメロディーを取り上げます。オーケストラ・サウンドの醍醐味と美しさを楽しめる名曲をお届けします。



©Toshiya Suda

朴 葵姫(パク・キュヒ) 【ギター】 Kyuhee Park, Guitar

韓国生まれ。日本と韓国で育つ。3歳でギターを始め、荘村清志、福田進一、A.ピエトリ各氏に師事。東京音楽大学を経て、2014年ウィーン国立音楽大学を首席で卒業。2016年アリカンテクラシックギターマスターコースを首席で卒業。ドイツ、ベルギー、スペイン、韓国他多くの主要国際ギターコンクールで優勝・受賞。日本、韓国、ヨーロッパで演奏活動をしている。東京都交響楽団、読売日本交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、広島交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、との共演を経て、2016年度には、NHK交響楽団と共演。

録音は「スエニョ〜夢」、「ソナタ・ノアル」(フォンテック)、「スペインの旅」最後のトレモロ、「サウダーヂ・ブラジルギター作品集-」(日本コロムビア)など、いずれも異例のヒットとなり、レコード芸術誌特選盤となる。NHKでのリサイクル放送が話題となるなど、今後の活躍が期待される、今注目のギター界の新星。12年カーネギーホール(ワイルホール)での米国デビューを果たし、国内外のギターフェスティバルへ招かれるなど世界的にも注目を集める。

現在、ヨーロッパ、日本、韓国などで演奏活動を行っており、会場で惹きつける音楽性と、とりわけ美しいトレモロ奏法の技術の高さは各地で絶賛されている。15年新譜「FAVORITE SELECTION」をリリース。

CD特設ページ<http://columbia.jp/kyuhee/index.html>

HP:http://www.concert.co.jp/artist/kyu_hee_park/

Facebookページ:<http://www.facebook.com/kyuheeparkguitar>



©ai ueda

柴田 真郁【指揮】 Maiku Shibata, Conductor

1978年東京生まれ。高校では演劇を学ぶ。国立音楽大学声楽科を卒業後、合唱指揮やアシスタント指揮者として藤原歌劇団、東京室内歌劇場等で研鑽を積む。

2003年に渡欧、ドイツ各地の劇場、オーケストラで研鑽を積みながら、04年にウィーン国立音楽大学マスターコースでディプロムを取得。修了演奏会でヴィディン・シンフォニーオーケストラ(ブルガリア)を指揮した。同年末には、ハノーファー・ジルバスター・コンサート(ドイツ)に客演しブラハ室内管弦楽団を指揮。翌年末のベルリン室内管弦楽団にも客演。2年連続でジルバスター・コンサートを指揮して大成功を収める。

2005年、リセウ大歌劇場(スペイン・バルセロナ)のアシスタント指揮者オーディションに合格し、セバステアン・ヴァイグレ、アントーニ・ロス＝マルバ、レナート・バルンボ、ジョセップ・ヴィセント氏等のアシスタントとして、様々な演出家や歌手と上演に携わった。

帰国後は主にオペラ指揮者として活動し、2009年、池辺晋一郎作曲オペラ「死神」で日本オペラ協会デビュー。2010年に五島記念文化財団オペラ新人賞を受賞し、研修生として再度渡欧し、イタリヤの劇場を中心に研鑽を積んだ。2013年、ヴェルディ作曲オペラ「仮面舞踏会」で藤原歌劇団公演デビュー。2015年、石井敏作曲「袈裟と盛遠」、2016年ブッチーニ作曲「トスカ」に客演を重ね好演を果たす。その他、名古屋音楽大学、関西歌劇団、堺シティオペラ(大阪文化祭奨励賞受賞)等にて指揮。近年では管弦楽にも力を入れており、2014年に大阪交響楽団で行われた名曲コンサートでは好評を博した。

これまでに東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京ニューシティ管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団等と共演。指揮を十束尚宏、星出豊、ティロ・レーマン、サルバドール・マス・コンデに師事。2010年(平成22年度)五島記念文化財団オペラ新人賞(指揮)受賞。

広島交響楽団【管弦楽】 Hiroshima Symphony Orchestra



国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広響は、下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>